



白山小学校学校運営協議会

はくざんコミュニティ・スクールだより



平成 30 年 5 月 15 日発行第 1 号

「子どもたちの楽習(がくしゅう)応援団に」



学校運営協議会会長 鴨井 俊徳

平成 23 年に廣瀬校長の時代からスタートしたコミュニティ・スクールは、香西校長、山下校長に受け継がれ、PTA、各会・組織の皆様方が参加し、企画に関わり、当日はサポーターとして支援に回るなど、白山小学校の学校教育の充実と子どもたちの成長に大きな役割を果たしてきました。今年度も、六車新校長のもと、子どもの知的好奇心や学力・楽力(がくりょく・楽しく学ぶ力)をみんなで刺激しましょう。子どもが「知ること、学ぶこと」は楽しいと感じ、前向きに参加したくなる「わくわく学習部会、にこにこ生活部会、すくすく健康部会」の活動の充実・深化にご理解とご協力をお願いします。後述となりましたが、5 年間会長として活動のまとめ役を担われた山崎前会長さん、ありがとうございました。

学校運営協議会



4 月 24 日に第 1 回学校運営協議会が開かれました。8 年目の今年度は、新しく参加するサポーターを増やしていくことを努力目標とします。特に、児童の祖父母世代が気軽に参加できるよう各部会で検討しています。

【香川大学教育学部柳澤教授の提言】

年々、子ども主体の取り組みが進んできている。子どもには、企画や活動中の失敗や意見の食い違いなどの困難に当たったときどう考え行動するかという力が身につけてほしい。大人は、子どもの力を引き出す環境作りをする。

運営協議会や三部会で参加者が遠慮なく発言できている。昨年同様の活動をすればよいという雰囲気はなく改革型の話し合いが行われている。サポーターにも活動を楽しんでもらおうと、創造的で型破りな活動になっている。

「こんなことで参加したい。」というサポーターが増え、リソース(資源)が増えてきている。今後も新しいネットワーク作りと広報活動が必要である。また、学校には、学習活動とコミュニティ・スクールの活動を結びつける「カリキュラム・マネジメント」が重要になる。

コミュニティ三部会



4 月 17 日に第 1 回コミュニティ三部会が開かれました。今年度もわくわく学習部会、にこにこ生活部会、すくすく健康部会の三つの部会に分かれて活動していきます。今回は、今年度の活動計画について協議しました。また、各部会からの活動内容については、左述の学校運営協議会で承認されました。

○わくわく学習部会

夏休みに実施するわくわく講座について、子どもたちに「子ども講座」を呼びかけ、講座内容や担当の決定など準備している。

○にこにこ生活部会

校区ふれあい遠足は、子どもたちが大変楽しみにしている。子どもたちの実行委員会を作り、話し合っ行って行き先を決める。昨年の反省点から触れ合う時間(レクリエーション)を長く設ける。

○すくすく健康部会

今年度の防災キャンプは、奥山(津柳)で実施し、地元の消防団と連携して活動する。

米作りは、昔の道具の体験や親子でおにぎり作りの活動と関連付けて行う。他にも、泥リンピック、おにぎり給食などを計画している。

平成 30 年度学校運営協議会委員を紹介します。

会長 鴨井 俊徳	副会長 山崎 可壽子	副会長 佐竹 一夫
委員 柳澤 良明	委員 阿野 秋子	委員 西丸 和代
委員 武田 珠恵	委員 中野 貴章	委員 安西 進
委員 白井 敏雄	委員 眞鍋 勇雄	委員 渡邊 圭子
委員 植田 真次		

5 年間、会長職であった山崎さんは副会長となります。

今年度新たに、PTA 会長の植田さんが新委員に任命されました。



ぴかぴか白山小 ～地域とともにある学校をめざして～

校区大運動会に向けて、4月23日、4月25日、4月27日の3日間で校庭の整備をしました。今年度、今まで学校で行っていた運動会前の環境整備（緑化活動）を家族や地域のみなさんに呼びかけたところ、3日間で延べ54名が参加し、校庭の草刈りや剪定をしました。孫のためにと、初めて参加したサポーターも多数いました。翌日のお昼の放送では、子どもの代表が「お世話になったサポーターさんに感謝の気持ちを伝えるためにも、運動会をがんばろう。」と全校児童に呼びかけました。

5月26日（土）にはきれいになった校庭で子どもたちが精いっぱい演技しますので、応援よろしくをお願いします。



5月8日には、児童美化委員会の呼びかけで、全校生で運動場の草ぬきをしました。短時間でしたが、これまできれいにしてくださったサポーターのみなさんに感謝しつつ、自分たちにできる活動に取り組みました。



にこにこ生活部会ベルマーク・牛乳パック・アルミ缶の収集活動に参加しませんか！

集め始めたら楽しくなる資源回収。5月・6月は、子ども一人1品を目指して活動します。家庭や地域のみなさんも、1枚、1本からの収集にご協力ください。牛乳パックは、ロールペーパーに、ベルマークとアルミ缶は、子どもが使用する物品になっています。